

ISSN 0387-7280

**国際日本文学研究集会会議録（第19回）**

PROCEEDINGS OF THE 19th INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE  
(1995)

**国文学研究資料館**

NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE

**情報資料室**

**PROCEEDINGS OF THE 19th INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE  
1995**

**National Institute of Japanese Literature**

1-16-10, Yutaka-cho, Sinagawa-ku,  
Tokyo, 142

# 第19回

## 目 次

挨拶 佐竹昭廣 …………… 3

### 研究発表

安居院流唱導における国文学と美術史の連絡 Michael JAMENTZ …………… 9  
- 普賢菩薩・十羅刹女像を中心として -

『今昔物語集』構想に対する一試論 李 瑛 雅 …………… 27  
- 三国構想における三韓関係説話の捉え方を中心に -

文学と演劇の「引用」の差異について Bonaventura RUPERTI …………… 44  
- 本歌取り・本説・素材をめぐる一考察 -

新ロマン主義の再検討 米 山 禎 一 …………… 60  
- 明治28年～大正10年を中心として -

福永武彦『秋の嘆き』論 王 成 …………… 77

安部公房の小説における〈変身〉のモチーフ 李 貞 熙 …………… 87  
をめぐって - 初期作品を中心として -

「浄瑠璃」と「パンソリ」作品の感情を模写 兪 三 善 …………… 112  
した擬音語・擬態語 - 人物の泣くさまを中心に -

古浄瑠璃『しのだつま』の新趣向 加 賀 佳 子 …………… 126  
- 文章の重なりと「書」の相伝の観点から -

地方諸藩に見る能役者の活動 樹 下 文 隆 …………… 156  
- 萩藩・岩国藩の江戸初期演能記録を中心に -

### 公開講演

上方役者絵の特色 松 平 進 …………… 171  
- ひいきとのかかわり -

享保期の近松浄瑠璃 Andrew GERSTLE …………… 183  
- 弱き英雄から強き武士へ -

### 記 録

第19回国際日本文学研究集会 …………… 206

参加者名簿 …………… 207

国際日本文学研究集会委員名簿 …………… 212



## 挨拶

佐竹昭廣

万葉集に「鶉鳴く古りにし里の秋萩を思ふ人どち相見つるかも」(巻8・1558)という歌があります。

内外の研究者をお迎えして、今年の国際日本文学研究集会も「思ふ人どち相見つるかも」、かくありたいものと願って居ります。

今日と明日の研究集会では、中古から現代に及ぶ、さまざまな分野の研究成果が披露されます。発表を希望されました全員の方々に登場頂く十分な時間を取ることができず、その点、残念に、また相済まなく存じて居ります。

この集会の計画を立案いたします国際日本文学研究集会委員会は、短い時間を少しでも有効に、楽しいものにしたいと、今年は二日目を芸能特集とし、竹下玲子さんの瞽女歌の上演を交えて、研究発表と講演を行うという企画を立てました。

一年一度の集会、かつ貴重な機会ですから、御参加の皆様の有益な御教示と、暖かい御批判をお願い申し上げます。

発行

平成 8 年10月

編集兼発行者

国文学研究資料館

〒142 東京都品川区豊町 1 - 16 - 10

電話 (03) 3785 - 7131(代)

FAX (03) 3785 - 7051

印刷所

株式会社 三協社

〒164 東京都中野区中央 4 - 8 - 9

電話 (03) 3383 - 7281